

令和4年度

定期監査（本庁課局）

結果報告書

茅野市監査委員



4監第51号  
令和5年(2023年)3月27日

茅野市長 今井 敦 様

茅野市議会議長 樋口 敏之 様

茅野市監査委員	山 崎 文 男
同	奥 原 正 夫
同	伊 藤 玲 子

令和4年度定期監査(本庁課局)の結果について(報告)

地方自治法第199条第4項の規定に基づき、本庁課局の定期監査を施行したので、同条第9項の規定にもとづき、その結果を報告いたします。

なお、地方自治法第199条第12項の規定に基づき、措置を講じたときは、その旨を監査委員に通知してください。

## 令和4年度定期監査（本庁課局）結果報告書

### 1 監査の種類

地方自治法第199条第4項の規定に基づく定期監査

### 2 監査の実施期間

令和5年1月24日から2月6日まで（延8日間）

### 3 監査の対象とした課局及び日程

期 日	曜日	午 前	課 局 等 名		
		午 後			
1月24日	火	午 後	選監事務局	議会事務局	会計課
1月25日	水	午 前	学校教育課	生涯学習課	
		午 後	幼児教育課	こども課（発達支援センター）	
1月26日	木	午 前	地域福祉課	税務課	
		午 後	健康づくり推進課	高齢者・保険課	
1月27日	金	午 前	農業委員会事務局	農林課（鳥獣被害対策室）	
		午 後	商工課	観光課	
1月30日	月	午 前	地域創生課（移住・交流推進室）	秘書広聴課	
		午 後	企画課・DX推進室		
2月2日	木	午 前	建設関連事業推進課	建設課	
		午 後	都市計画課	水道課	
2月3日	金	午 後	環境課・ゼロカーボン推進室	市民課（消費生活センター）	
2月6日	月	午 前	総務課	防災課	
		午 後	財政課		

### 4 監査対象とした事項及び範囲

令和4年4月1日から令和4年12月末日までの間における、財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理状況

## 5 監査の着眼点

監査に当たっては、地方自治法第199条第1項及び第2項の規定に基づき、令和4年度の特に財務に関する事務の執行及び経営に係る事業の管理が法令に適合し、正確で、最少の経費で最大の効果を挙げ、その組織及び運営の合理化に努めているか監査した。

また、事務の執行が法令に適合し、正確で、最少の経費で最大の効果を挙げるようにし、その組織及び運営の合理化に努めているか着眼を置き次のとおり監査を実施した。

- (1) 事務事業が計画的、合理的に進捗しているか。
- (2) 事務事業が住民福祉の増進に役立つよう公正に行われているか。
- (3) 関係法令等に基づき事務事業が実施されているか。
- (4) 経済的、かつ効率的な支出が行われているか。
- (5) 公有財産、物品等の管理運用は適切に行われているか。
- (6) 現金管理は適切に行われているか。
- (7) 他団体会計の処理は適正に実施されているか。

## 6 監査の実施内容

### (1) 委員監査

定期監査資料に基づき、それぞれの事務事業が経済的、効果的、合理的かつ計画的に執行されているかについて、帳簿類監査の結果も踏まえながら、課長等から聴取調査する方法で実施した。

### (2) 帳簿類監査

下記帳簿類の提出を求め、それぞれの事務が法令等に基づいて適正に処理されているかについて監査を実施した。

- ① 公金管理チェックシート
- ② 現金取扱簿
- ③ 税外徴収簿
- ④ 備品台帳
- ⑤ 関係団体通帳
- ⑥ 関係団体収入整理簿
- ⑦ 委託契約書

## 7 監査の結果

監査の趣旨及び監査の対象等のおり監査した限りにおいて、概ね各課局とも事務事業の執行にあたって、民主的かつ効率的に意を用いながら法令を遵守し、適正に執行されており、予算についても正しく執行されていると認めた。

なお、改善事項及び意見・要望事項については、監査の際に各課局の担当者等に指摘したが、次頁以降の意見・事項について特に留意していただきたい。

## (1) 全庁に共通する意見・要望事項

① コロナ禍も3年目に入り、様々な民間活動も徐々に再開され、観光客も含め人の動きも出てきている中、市における事務事業もコロナ禍前には戻らないものの、各課局ともに知恵を絞って、でき得る限りの業務遂行に努めている印象を持った。

② 今回の本庁定期監査においては、説明資料に表やグラフが添えられており、一目で前年比や動向が分かるように工夫されている点はとても良かった。

その中で、単年度だけの数字でなく、事象の変化が分かるよう時系列で複数年を表示する等の工夫を講じていただきたい。

③ 公金の取り扱いが杜撰な部署が見られた。一方、よくできている部署もある。本庁内での事務の一層の統一化が必要であると感じるが、その中でも切手はがきのチェックが必要である。

④ 監査の目的が業務の有効性と効率性の評価とすると監査に対応できていない資料が散見された。少なくとも業務の結果である実績の数字を参照できるようにしていただけるとありがたい。

また、その業務の狙いと目的を達成できたかどうかを判断できる業務目標(項目、期限、目標値)、その目標の結果である実績との比較結果、未達の場合の理由の分析と処置方法、過達の場合にはその目標の妥当性の評価を記述いただけると有効な監査に繋がるので検討していただきたい。

⑤ 業務目標あるいは業務実績についての費用対効果の評価をしていただければ、予算の有効な執行の監査に役立つので検討していただきたい。

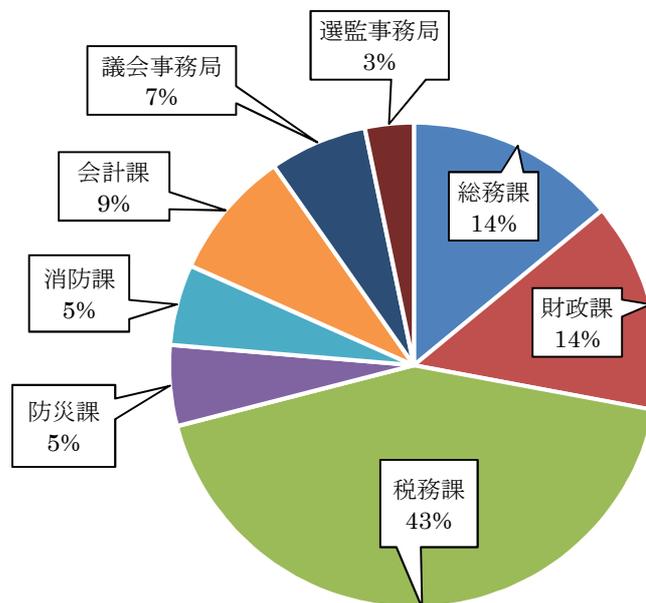
⑥ 各課等の未収金において、この先の納付資力がどこまで負えるかを判断し、場合によっては執行停止処分を経て不能欠損処理の判断に努めていただきたい。

一方で納付資力がありながら納付計画に応えない場合は、法に則った対応に着手し、優良納付者との公平性の確保に努めていただきたい。

## (2) 課等に対する意見・要望事項

### ○総務部関係

総務課	13人
財政課	13人
税務課	40人
防災課	5人
消防課	5人
会計課	8人
議会事務局	6人
選監事務局	3人
総務部関係 計	93人



#### 「総務課」

・役所の人材育成と人材確保について、日々苦勞されているが、少子高齢化が劇的な速さで進む今後を考えると、どのような人材をどのような方法で確保していくかの戦略的取り組みが必要と感じる。特に技術系の採用については民間企業との競争になりつつあり、市役所としての優位性をどのように発揮するかが重要である。

さらに、人生100年時代を考えると経験やそこから得られた知識を豊富に持つ定年人材の活用方法の工夫が有用と考える。

人材育成の基礎である教育については、将来のDXを見越した教育体系づくりが必要と思われる。

また、個々の人材育成にとどまらずに、各部局での必要な組織能力が高まるような教育・訓練も講じていただきたい。

#### 「財政課」

・工事成績評定の経年推移グラフにおいて、R1年からR4年にかけて工事成績評定の平均値が、77.5、77.9、78.8、81.0点と年々上昇している点は評価したい。これは、業者の実力の向上とともに市役所による厳正な評価によって優良な業者が選定されていることによると思われる、業者と市役所とのよい相乗効果を活かして質の高い工事の実現を求めたい。

## 「税務課」

・納税方法も納税者の利便性を考慮し多様化している施策であると思うが、予期せぬ事案の洗い出しと予防的対策が必要ではないかと感じる。

また、市役所の徴税効率を高める納税方法については、積極的に宣伝すべきと感じるので検討していただきたい。

・ベルビア出張所等の税金の窓口収納が多いので、窓口来訪者に口座振替の依頼をする等により窓口の負担軽減や効率化を図られるよう検討していただきたい。

## 「危機管理室 防災課」

・避難所における備蓄の準備など十分に実施されたい。可能であれば、国及び県や有識者などの情報をもとに避難所の備えるべき機能と既設の避難所の設備・備蓄について一覧表などを使って整理いただけると避難所としての安心の程度が増すと考えるので、検討していただきたい。

## 「会計課」

・公金等の管理に関し、各課、施設等を対象に指導しているが、指導事項は全庁的に公開し、組織全体に浸透、徹底するよう努めていただきたい。

・莫大な量の処理が正確に行われている。この中で支払い通知の電子化を検討いただけると役所のDX化の利益の一つになるかと思う。一方、出納印の廃止等業務の効率化にも取り組んでいる。

## 「議会事務局」

・議会の円滑な運営に注力されている。議会の様子をビーナチャンネルとインターネットを通して発信され、インターネットでのアクセス件数も把握していることから、これら発信の有効性の判断も付くかと思う。さらにこれらをドメインで分析することも有用ではないかと思うので検討していただきたい。

## 「選監事務局」

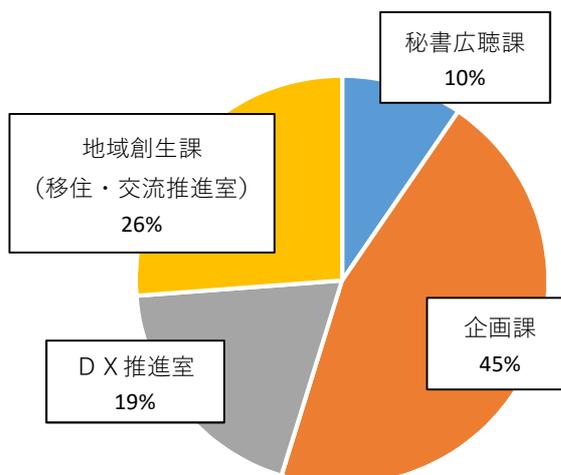
・投票率の低下傾向に歯止めをかけるために、具体的施策を講じるとともに行った施策の効果を検証していただきたい。

・各委員会の事務局として確実に業務を遂行されている。各委員会の性格にもよるが、委員間の任期の重なりを工夫して、それぞれ委員が持っている知識を共有できるよう検討していただきたい。

## ○企画部

秘書広聴課	4人
企画課	19人
D X推進室	8人
地域創生課 (移住・交流推進室)	11人
企画部 計	42人

※政策監・推進幹を含む  
兼務職員は所属毎カウント



### 「秘書広聴課」

・「市政への手紙」、「市政へわたしの意見・提言メール」については、その内容に応じて担当課にトスされている。トスされた担当課の対応内容について、妥当性や時間軸の評価を実施していただきたい。

### 「企画課・D X推進室」

・行政評価として118件の施策評価を行ったとのことだが、評価結果をどのように活かすかが重要である。その評価において、未達成な部分については、対策を講じていただきたい。

・デジタル化とともに情報セキュリティに関する職員の感度向上が必要である。セキュリティeラーニングの欠席者(未受講者)については、早急に対応していただきたい。

・「デジタル田園特区」における健康・医療について、市民にメリットが見えるよう発信していただきたい。

・労働人口減少を見越して積極的にAIやRPAの導入を目論まれていることはとても大切と考えるので、対象作業をどのように選定するかが重要である。続いて標準化されている作業から始めるのがよいと考える。

また、DXのためには文書などのデジタル化が必須であるので、市役所職員のデジタル化への意識変革を図っていただきたい。

## 「地域創生課（移住・交流推進室）」

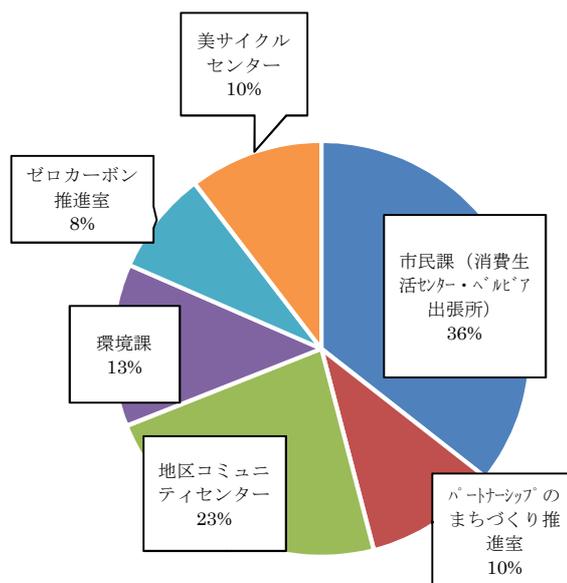
・地域の活力の源泉は人にあり、人口減少は地域の活力の減衰に繋がることから、少子化対策の政策として婚活を進めているのは理にかなっている。この中で実施されている婚活イベントは全体を対象としたイベントとしての性格が強いように感じる。役所の施策のために全体的にならざるを得ないと思うが、商工会議所や事業主を巻き込んで個を対象にした考え方も有用であるので検討していただきたい。

・他国籍市民の方も地域の活力の源泉となる。このためには他国籍市民の方たちとのスムーズなコミュニケーションや価値観の相互理解は大切である。どこの国の方が多いかについて適時判断し、その方たちに対応した施策を実施していただきたい。

## ○市民環境部

市民課（消費生活センター・ベルビア出張所）	31人
パートナーシップのまちづくり推進室	9人
地区コミュニティセンター	20人
環境課	11人
ゼロカーボン推進室	7人
美サイクルセンター	9人
市民環境部計	87人

※兼務職員は所属毎カウント



### 「市民課（消費生活センター）」

・市民相談の窓口として、丁寧に対応されている。平成30年度から令和4年度にかけて年を追うごとに「地域関係」の相談が増えているようである。地域関係の相談に共通する部分を抽出し、可能であればその理由を探り、相談以前で解決できるよう努めていただきたい。

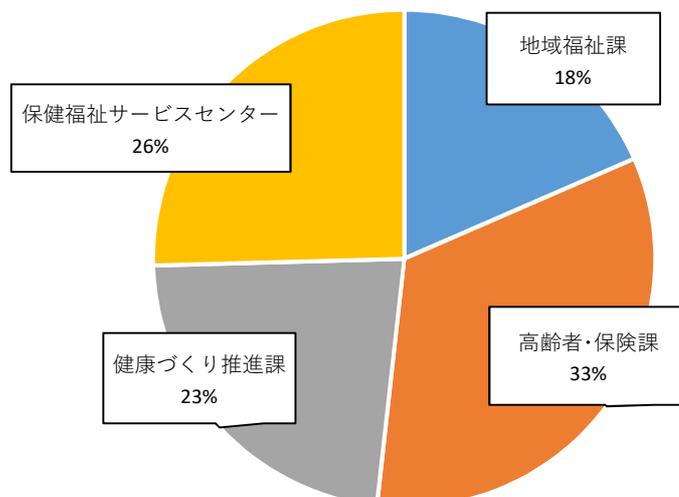
### 「環境課・ゼロカーボン室」

・環境マネジメントシステムを茅野市独自で作成し運用していることは環境を重視している市の姿勢として心強く感じる。環境マネジメントシステム「エコマネ茅野」では、定期的に内部監査を実施しており、システムの有効性を高められていると思われる。内部監査で指摘された事項について、改善を要するものあるいは推奨されるものに分けて事例集の作成を検討していただきたい。

また、監査を目的とした内部監査にとどまらず、これら情報を共有することによって茅野市関連施設が情報を活用できるような横展開の仕組みづくりを検討していただきたい。

## ○健康福祉部

地域福祉課	21人
高齢者・保険課	38人
健康づくり推進課	26人
保健福祉サービスセンター	29人
健康福祉部計	114人



### 「地域福祉課」

・地域の福祉について多くの施策を実施していただいている。施策の実績も具体的な数字で記述されており分かりやすい内容であったが、実施に対する効果についても記述いただけると監査に役立つものとなる。例えば自立支援給付について、自立訓練の利用実人数はあるが、訓練によって自立した日常生活あるいは社会生活ができるようになった方の人数も知らせいただけると給付の有効性が評価できるので検討していただきたい。

### 「高齢者・保険課」

・実績値について、他市町村実績との対比を行っており、茅野市の特徴や施策の妥当性が評価でき、よい捉え方であった。  
・業務が広範囲であり、限られた職員の中で、いかに市民に寄り添った施策を講じていくか、今後の課題であると感じた。その中で特に、介護予防について実態を把握し、適切で効果的な予防策を講じていただきたい。

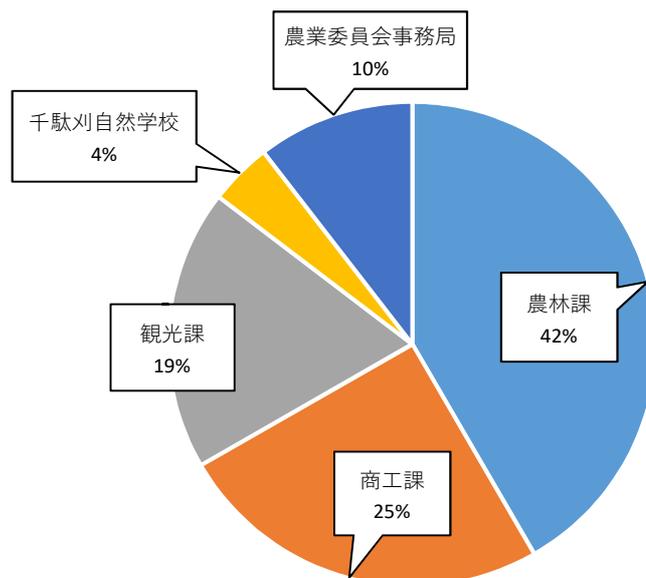
### 「健康づくり推進課」

・市民の健康推進のために多くの施策を実施していただいている。その中でも多種にわたる健診があるが、健診結果が要治療となった市民に対して、診療を受けているかどうかのフォロー方法によって健康づくりに役立つと思うので検討していただきたい。

## ○産業経済部

農林課	20人
商工課	12人
観光課	9人
千駄刈自然学校	2人
農業委員会事務局	5人
産業経済部計	48人

※兼務職員は所属毎カウント



### 「農林課（鳥獣被害対策室）」

・今後の農業政策、農地及び農家の保護確保のために、現在進めている「地域計画」を着実に進め、林業振興にあたっては、有効で効果的な補助金の活用を努めていただきたい。

・多くの施策を実施されているが、水田リノベーション事業について交付対象事業の交付額に対する効果(直近の効果・将来の効果)の評価を行っていただき、ベストプラクティスについては、その成功要因を、あまり効果が得られなかった事例についてもその原因を知ることが今後に役立つので検討していただきたい。

また、森林造成事業のように実績が記述されていない部分については、今後は実績も記述していただけると事業評価が可能となるので、対応いただきたい。

### 「商工課」

・ワークラボハヶ岳・諏訪理科ブランド・茅野産業振興プラザなど他の手本となるよい活動が行われている。茅野の独自性を活かしたさらなる活動の発掘に努めていただきたい。

・平成20年から令和4年までの融資あっせん金額の推移がグラフで示されておりその様子が分かるように工夫されている。この推移について、似た環境の他の自治体の推移と比較していただき、妥当性あるいは茅野市独特の特徴などを読み取って、より有意義なあっせんとなるように工夫を講じていただきたい。

## 「観光課」

- ・千駄川自然学校の収益構造を検討し、経営形態の変革を至急に進めるよう求めたい。

- ・山浦ステイの事業内容の見直しをDMOとともに行うよう求めたい。

- ・茅野市を訪れる観光客の把握が、数年経過しないとわからないとの話であるが、タイムリーに施策を講じていくためには、直近の数値の把握が不可欠であり、研究工夫を求めたい。

- ・各種事業を説明いただいたが、その多くが実績値の記述がなく、有効であったかどうかの判断がつきにくい状況であった。また、インバウンド事業については国別宿泊者数のグラフがついており分かりやすい記述にはなっていたが、打った策についてその効果があったかどうかについての振り返りはないようであった。事業を有効に展開するためにも勝ち負け分析を行って必勝の方程式を導き出していただきたい。

特に補助事業についての実績値が不明のために、補助金が有効に使われているかどうかの判断がつかない。予定のみではなく実績値を把握し、予定との差やその有効性のについても考察していただくことを求めたい。

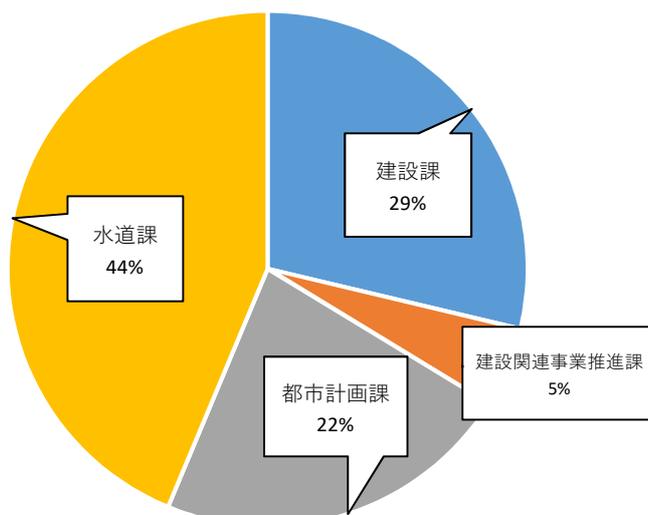
## 「農業委員会事務局」

- ・委員にタブレットを配布し、10年後の農地を予測することを目論んでいることは今後の茅野市の農業の方向付けに役立つと思う。報告書も多くのデータとグラフがありこれもよいと思う。農地転用件数推移では、少し目的別にデータを眺めて傾向を知ること努めていただきたい。

また、農地集積度計画と実績値との差異分析によって、集積度のばらつきの原因を探っていただきたい。

## ○都市建設部

建設課	23人
建設関連事業推進課	4人
都市計画課	18人
水道課	35人
都市建設部計	80人



### 「建設課」

・説明資料が多色刷りでとても分かりやすくデザイン思考を先取りされたような資料であった。道路・水路・橋梁などの維持が大切な業務であり、積極的な長寿命化保守の検討をしていただきたい。

### 「建設関連事業推進課」

・比較的息の長い事業を推進されている。この中でいろいろな要望書の作成と提出もやられているが、可能であれば要望書提出の狙いとその成功率を分析いただくと、さらに質の高い業務になるので対応していただきたい。

### 「都市計画課」

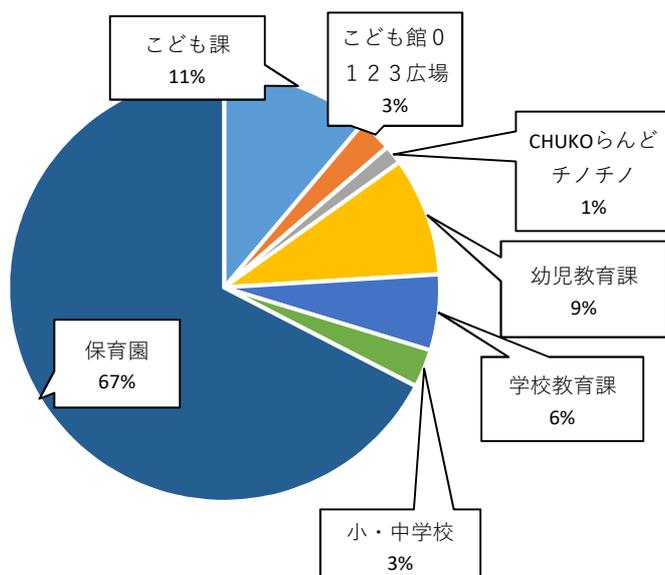
・どの時点で茅野市はどのようになっていきたいかのビジョンに基づいた都市計画作成、また、定期的にビジョンからバックキャストした内容と実勢との差を分析していただき、修正なども積極的に実施いただきたい。

### 「水道課」

・特に自然災害発生時の対応について、有識者の意見あるいは他自治体とベンチマークによって、その妥当性を評価・確認をしていただきたい。

## ○こども部

こども課	31人
こども館0123広場	7人
CHUKOらんどチノチノ	4人
幼児教育課	25人
学校教育課	16人
小・中学校	8人
保育園	188人
こども部関係計	279人



### 「こども課（発達支援センター）」

・手厚い施策を多く実施されているが、その中でこぼれてしまうケースについて保育園や小学校と連携して情報を共有し、「育ちあいの」で対応し、これらから一般化した事例を保育園や小学校あるいはこぼれてしまう層に対して事例を示すことも、すべての子どもが幸せに生きることができると一助になると思うので、検討していただきたい。

・母子、父子自立支援、発達相談等様々なケースにおいて、相談窓口が複雑化しており、どこの部署に相談に行けばよいか、分かりやすく明示するよう対応していただきたい。

### 「幼児教育課」

・いち早くICTを取り込んだ活動を行っている点はとても評価したい。  
 ・「園長会」について、課と保育園の連携、連絡がより密になるよう開催方法や運営方法を見直し、改善に努めていただきたい。

### 「学校教育課」

・学校施設について、各学校からの要望をくみ取り、学習・生活面に支障が起きないようにハード、ソフト両面で計画的な遂行に努めいただきたい。

・育英事業の「貸付」制度を改定し、現在2名が利用しているが、より多くの学生が利用できる制度を研究していただきたい。

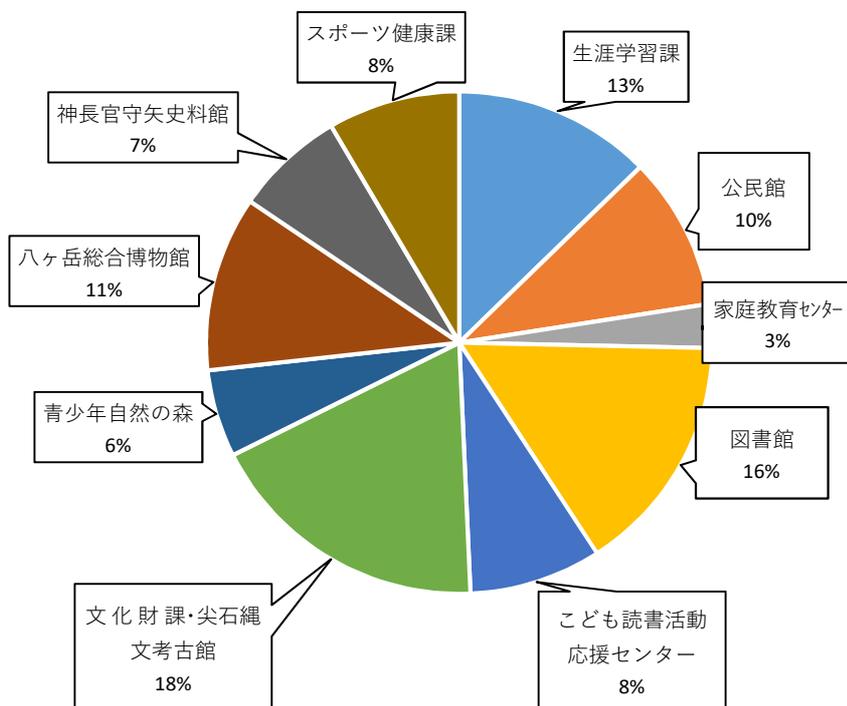
・児童生徒の安全管理については、通学時の交通安全について配慮され有用な策を実施されている。これに加え防災課とも連携し、自然災害時における学校の対応についても検討いただき、特に災害時での重機利用について地元業者団体との事前の打ち合わせが肝要と考えるので、検討いただきたい。

・ICTを活用した授業用の教材づくりはとても手間暇が掛かり、現場の先生方ではやり切れない部分があるかと思う。この部分をICT教育サポートセンターで教材づくりを支援いただくことを検討していただきたい。

## ○生涯学習部

生涯学習課	9人
公民館	7人
家庭教育センター	2人
図書館	11人
こども読書活動応援センター	6人
文化財課・尖石縄文考古館	13人
青少年自然の森	4人
八ヶ岳総合博物館	8人
神長官守矢史料館	5人
スポーツ健康課	6人
生涯学習部計	71人

※兼務職員（所属毎カウント）



### 「生涯学習課」

・茅野市民館が令和5年3月で5年間の指定管理契約が終了となる。現状の運営方法について詳細な評価を行い、高額な運営費用に見合う有効な活用形態に努めていただきたい。

・茅野市の読書活動は全国的にみても高いレベルにあり、読み解く力に関しては茅野市の小中学生は十分な力がついている。この点についても継続的支援に努めていただきたい。

【参考資料】

職員配置状況について

茅野市職員定数条例による職員の定数は、市長の事務部局等の職員490人、公営企業の職員30人の合計で520人となっています。

提出された監査資料において把握した職員数（兼務は所属毎1人として加算）は814人で、内訳は正規職員528人、会計年度任用職員（時給職員除く）が286人となっています。

職員数を部門別にみると、全職員数の割合では、こども部279人（34%）、健康福祉部114人（14%）、総務部関係93人（11%）、市民環境部87人（11%）、都市建設部80人（10%）、生涯学習部71人（9%）、産業経済部48人（6%）、企画部42人（5%）という配置となっています。

そのうち会計年度任用職員は全体の35%を占めています。特に多いのは、教育委員会の160人であり、続いて健康福祉部45人、市民環境部25人、都市建設部16人、産業経済部16人、総務部関係15人、企画部9人となっています。

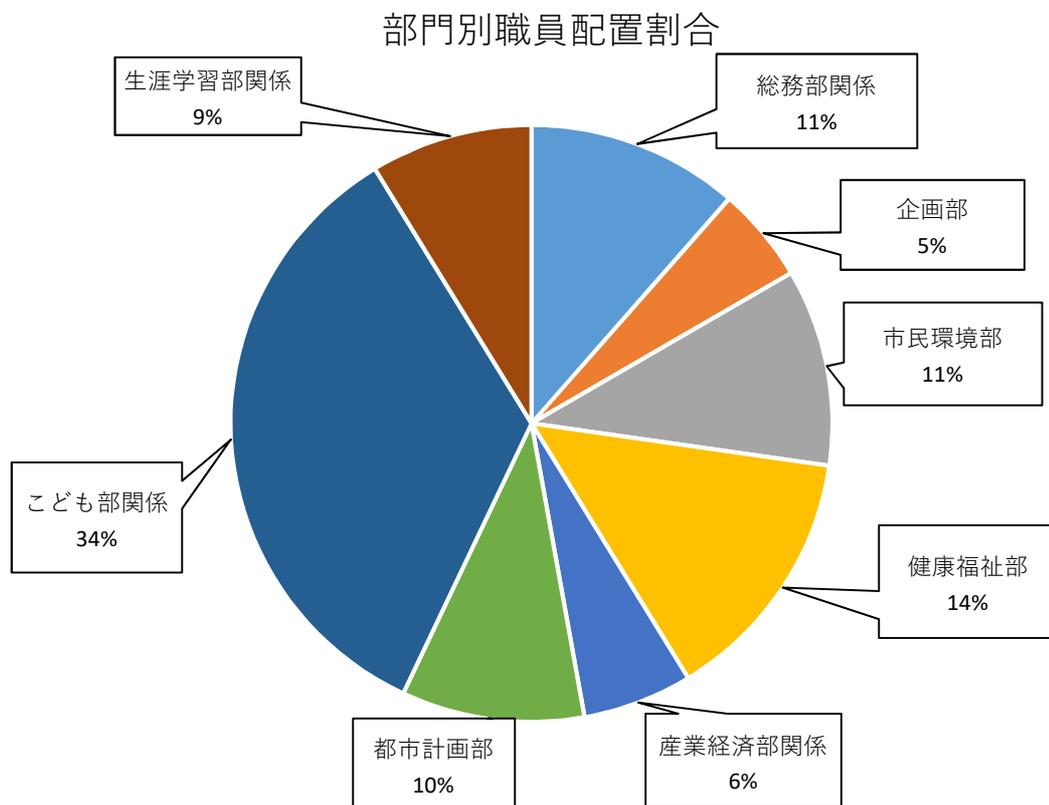
職員配置状況

表中の記載について

※ 職員数の（ ）内は兼務職員の内数です。

※ 本庁における会計年度任用職員の数に、時給の者は含まれていません。

※ 職員数は、定期監査（本庁課局）の監査資料（令和4年12月末現在）に基づく数であり、施設関係の職員数は、定期監査（出先機関及び施設）の監査資料（令和4年9月末現在）に基づく数です。



課 局 名 等	職員数			会計年度 任用職員	計	平均 年齢 (歳)
	部長	課長	職員			
総務部関係	3	6	69	15	93	45
企画部	1	4(1)	26	9	42(1)	43
市民環境部	1	5	56(6)	25	87(6)	51
健康福祉部	1	4	64	45	114	46
産業経済部関係	1	4(1)	27	16	48(1)	45
都市計画部	1	4	59	16	80	45
こども部関係	1	3	146	129	279	45
生涯学習部関係	1	5(2)	34(6)	31(1)	71(9)	54
計	10	35(4)	481(12)	286(1)	814(17)	49

(単位：人)

部名	課 局 名 等	職員数			会計年度 任用職員	計	平均 年齢 (歳)
		部長	課長	職員			
総務部関係	総務課	1	1	9	2	13	45
	財政課		1	11	1	13	44
	税務課		1	30	9	40	41
	防災課		1	4		5	49
	消防課		1	3	1	5	54
	会計課	1		6	1	8	46
	議会事務局	1		4	1	6	52
	選監事務局		1	2		3	53
	総務部関係計	3	6	69	15	93	45

部名	課 局 名 等	職員数 (人)			会計年度 任用職員	計	平均 年齢 (歳)
		部長	課長	職員			
企画部	秘書広聴課		1	3		4	48
	企画課	1	1	9	7	19	47
	D X推進室		(1)	5	1	8(1)	37
	地域創生課 (移住・交流推進室)		1	9	1	11	41
	企画部計	1	4(1)	26	9	42(1)	43

※政策監・推進幹2名を含んでいます。

部名	課局名等	職員数			会計年度 任用職員	計	平均 年齢 (歳)
		部長	課長	職員			
市民環境部	市民課 (バルビア出張所)		1	16	14	31	44
	パートナーシップのまちづくり推進室		1	4	4	9	50
	地区コミュニティセンター			20		20	48
	環境課	1	1	7	2	11	45
	ゼロカーボン推進室		1	(6)		1(6)	46
	美サイクルセンター		1	3	5	9	56
	市民環境部計	1	5	56(6)	25	87(6)	51

部名	課局名等	職員数			会計年度 任用職員	計	平均 年齢 (歳)
		部長	課長	職員			
健康福祉部	地域福祉課	1	1	14	5	21	43
	高齢者・保険課		1	17	20	38	46
	健康づくり推進課		1	16	9	26	46
	保健福祉サービスセンター		1	17	11	29	48
	健康福祉部計	1	4	64	45	114	46

部名	課局名等	職員数			会計年度 任用職員	計	平均 年齢 (歳)
		部長	課長	職員			
産業経済部関係	農林課		1	14	5	20	44
	商工課	1	1	6	4	12	43
	観光課		1	5	3	9	46
	千駄刈自然学校				2	2	59
	農業委員会		(1)	2	2	4(1)	45
	産業経済部計	1	4(1)	27	16	48(1)	45

部名	課局名等	職員数			会計年度 任用職員	計	平均 年齢 (歳)
		部長	課長	職員			
都市建設部	建設課		1	17	5	23	46
	建設関連事業推進課	1	1	2		4	46
	都市計画課		1	15	2	18	41
	水道課		1	25	9	35	46
	都市建設部計	1	4	59	16	80	45

部名	課局名等	職員数			会計年度 任用職員	計	平均 年齢 (歳)
		部長	課長	職員			
こども部関係	こども課	1	1	16	13	31	52
	こども館0123広場			2	5	7	62
	CHUKOらんどチノチノ			2	2	4	42
	幼児教育課		1	12	12	25	49
	学校教育課		1	11	4	16	48
	小・中学校			4	4	8	44
	保育園			99	89	188	42
	こども部関係計	1	3	146	129	279	45

部名	課局名等	職員数			会計年度 任用職員	計	平均 年齢 (歳)
		部長	課長	職員			
生涯学習部関係	生涯学習課	1	1	4	3	9	55
	公民館			3	4	7	55
	家庭教育センター			1	1	2	57
	図書館			5	6	11	49
	こども読書活動応援センター		(1)	(3)	1(1)	1(5)	57
	文化財課・尖石縄文考古館		1	8	4	13	49
	青少年自然の森		(1)	(1)	2	2(2)	61
	八ヶ岳総合博物館			3	5	8	56
	神長官守矢史料館			(2)	3	3(2)	62
	スポーツ健康課		1	4	1	6	51
	生涯学習部計	1	5(2)	34(6)	31(1)	71(9)	54

教育委員会計	2	8(2)	180(6)	160(1)	350(9)	36
--------	---	------	--------	--------	--------	----